

授 業 科 目	義肢学 I		
教 育 内 容	専門分野	基礎義肢装具学	
担 当 教 員	丸山貴之、吉岡久恵、大谷巧、那須祐介		
学 年	2	単 位 数	2
開 講 時 期	通年（水曜日 1-4 限） （前期 9 回、後期 24 回）	時 間 数	講義（60 時間）

## ■ 授業概要

本科目では、下腿義足を主として、サイム義足（足関節義足）、足部義足について概念と理論の教授を行う。下腿義足のソケットタイプによる体重支持や懸垂方法、そして、足部やライナーなどの義足パーツについてその機能と特徴について理解を深める。

また、下肢切断の原因疾患とそれに対する義足及びリハビリテーションについて、セミナー形式の課題を課し、資料作成・発表とディスカッションを通して下腿義足の疾患と適応、およびパーツ選択について理解を深める。

また、義足足部とライナーについては外部講師を招いて特別講義を行い、レポートを課し、義足構成要素の個々の部品についての理解を深める。

なお、小テストは義肢学実習 I の時間内に行うこともあるので注意すること。

## ■ キーワード

下腿義足の種類と機能、義足の体重支持と懸垂、下腿義足の適合とアライメント、サイム義足・足部義足

## ■ 到達目標

- 1) 下腿義足の体重支持理論を理解し説明出来る
- 2) 下腿義足のアライメントについて理解し、現象と原因および対処法を説明出来る
- 3) ソケットタイプごとの機能と特徴を説明できる
- 4) 下腿切断の原因疾患と、それに適した義足（ソケットタイプやパーツ選択等）の考え方を理解する
- 5) 下腿義足の構成要素となる部品について、特徴とその選択の因子を理解する
- 6) サイム義足、足部義足の理論と特徴について理解し説明出来る

## ■ 授業内容

第 1-2 回	オリエンテーション 下腿義足概論、PTB ソケットの体重支持理論 PTB ソケットの採型 (Demo)	(モデル 1 名)
第 3 回	義足足部の機能と構造	
第 4-5 回	下腿義足のアライメント	小テスト
第 6 回	PTB 式下腿義足の適合とアライメント調整 (Demo)	小テスト (モデル 1 名)
第 7-8 回	PTS ソケットの機能と特徴 PTS ソケットの採型 (Demo)	(モデル 1 名)
第 9 回	PTS 式下腿義足の適合とアライメント調整 (Demo)	小テスト (モデル 1 名)
第 10-11 回	KBM ソケットの機能と特徴 KBM ソケットの採型 (Demo)	
第 12 回	KBM 式下腿義足の適合とアライメント調整 (Demo)	小テスト (モデル 1 名)
第 13-14 回	ライナーの種類と特徴	

第 15-16 回	サイム義足、足部義足	
第 17-20 回	セミナー①、②、③	セミナー資料（前日まで）
第 21-24 回	セミナー④、⑤	セミナー資料（前日まで）
第 25-26 回	TSB ソケットの機能と特徴 TSB ソケットの採型（Demo）	（モデル 1 名）
第 27 回	TSB 式（ライナー式）下腿義足の適合とアライメント調整 （Demo）	小テスト （モデル 1 名）
第 28-33 回	特別講義：各社の義足足部とライナー	特別講師

#### ■評価方法

本科目の評価は、「セミナー発表」、「足部レポート」、「小テスト」、「中間試験」、「期末試験」の各項目での評価を総合して行う。

注 1) 適合レポートは発表日の I 限開始時まで全員分コピーし資料として配布を完了しておくこと。I 限開始時まで提出されていないレポートについては評価を 0 点とするので注意すること。

注 2) セミナーについては、資料を発表の前日 17:00 までに提出し、前日のうちに資料として配布を完了しておくこと。セミナー発表日に発表できない者に対しては、評価を 0 点とするので注意すること。

注 3) 足部レポートは提出期限外のものについては評価を 0 点とするので注意すること。

〈評価配分〉セミナー発表 25%、足部レポート 15%、小テスト 10%、中間試験 25%、期末試験 25%

#### ■教科書

義肢学 第 3 版

義肢製作マニュアル 第 2 版

義肢装具のチェックポイント 第 9 版、

切断と義肢 第 3 版

#### ■留意事項

＜実務経験のある教員＞

丸山貴之：専任教員として 17 年間勤務の傍ら当センター病院リハビリテーション部併任にて下腿義足の採型、製作、適合業務に従事。

吉岡久恵：民間施設にて約 9 年従事。その後、教員（常勤・非常勤）として 20 年勤務。同時に東京都等の非常勤職員として義肢装具の更生相談に携わる。専任教員の傍ら当センター病院リハビリテーション部併任。

大谷巧：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に 15 年間従事。専任教員として 1 年間勤務の傍ら当センター病院リハビリテーション部併任。

那須祐介：民間施設にて約 6 年従事し専任教員として 2 年間勤務の傍ら当センター病院リハビリテーション部併任。